

# いしかり 市議会 だより



## 表紙の団体

### 石狩スキー連盟

昭和56年、まちのスキー愛好家がスキーに対する熱い思いを胸に本連盟を設立しました。現在は会員215人、指導員などの有資格者153人を誇ります。設立以来続く市民スキー大会は、子どもから大人まで気軽に楽しめる、冬の一大イベントになっています。

問合せ 事務局長 駒形さん

✉ tsyh-komagata@kmd.biglobe.ne.jp

2/23(月・祝)に開催する石狩市民スキー大会に参加しませんか？  
詳細は二次元コードよりご覧ください。  
石狩市民スキー大会▶



こんなことが決まりました	2
一般質問	4
委員会活動だより	15
特集 中学生との意見交換会	16

# こんなことが決まりました



## 第4回定例会 (11月28日～12月17日)

傍聴者 19人

令和7年第4回定例会は、20日間の会期で開催され、補正予算、条例改正などを審議しました。

### 補正予算

#### 令和7年度一般会計の主な補正

- 総務費 4億5,715万6千円
  - ・ふるさと応援寄附推進事業費
  - ・地域公共交通確保維持事業費 ほか
- 民生費 3,159万4千円
  - ・冬の生活支援一時金支給事業費
  - ・子どもの居場所づくり推進事業費 ほか
- 衛生費 1,429万7千円
  - ・野生動物対策事業費
  - ・リサイクルプラザ運営事業費 ほか
- 農林水産費 1,519万2千円
  - ・畑地化促進事業費 ほか
- 土木費 165万5千円
  - ・公営住宅管理費 ほか
- 職員費 1億2,834万4千円
  - ・職員給与費 ほか

#### 令和7年度国民健康保険事業特別会計の主な補正

- 総務費 173万5千円
  - ・一般管理事務費 ほか
- 諸支出金 380万7千円
  - ・保険給付費等交付金償還金

#### 令和7年度国民健康保険診療所特別会計の主な補正

- 総務費 443万3千円
  - ・職員人件費 ほか

#### 令和7年度後期高齢者医療特別会計の主な補正

- 総務費 231万円
  - ・子ども・子育て支援金制度に係るシステム改修費

#### 令和7年度介護保険事業特別会計の主な補正

- 総務費 253万3千円
  - ・税制改正に伴うシステム改修費 ほか

### 条例の制定

#### ○石狩市支所設置条例案

これまで地域自治区の事務所として設置していた厚田支所及び浜益支所について、地域自治区の設置期限が満了となることから、新たな条例により厚田支所及び浜益支所の設置を定めるものです。

#### ○石狩市厚田地域協議会及び浜益地域協議会条例案

地域自治区設置期間の終了に伴い廃止となる、厚田区地域協議会及び浜益区地域協議会の機能、役割を継承する組織を設置するため、地方自治法の規定により、新たに制定しようとするものです。

### 条例等の一部改正

#### ○石狩市公告式条例の一部を改正する条例案

#### ○地域自治区の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例案

#### ○石狩市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

#### ○石狩市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案

#### ○石狩市職員の給与に関する条例及び石狩市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案

#### ○石狩市火葬場条例の一部を改正する条例案

### 第4回定例会 議決結果

#### 全会一致で決まったこと

- 令和7年度補正予算
  - ・令和7年度石狩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
  - ・令和7年度石狩市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
  - ・令和7年度石狩市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
  - ・令和7年度石狩市下水道事業会計補正予算(第2号)
  - ・令和7年度石狩市一般会計補正予算(第8号)
- 条例の制定
  - ・石狩市支所設置条例案
  - ・石狩市厚田地域協議会及び浜益地域協議会条例案
- 条例等の一部改正
  - ・石狩市公告式条例の一部を改正する条例案
  - ・地域自治区の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例案
  - ・石狩市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案
  - ・石狩市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案
  - ・石狩市職員の給与に関する条例及び石狩市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案

## 《《《 第4回定例会 議決結果 》》》

### 全会一致で決まったこと

- **報告** ・専決処分報告の件(工事請負変更契約締結の件)
- **その他** ・指定管理者指定の件(石狩市あいりーどパーク、石狩市墓地、リサイクルプラザ、石狩市市民活動情報センター、花畔農住団地・花川東・花川南第1・わかば・白樺・紅葉山・ニューあかしや・花川中央・親船・花川南第2・緑ヶ原・弁天・石狩中央・緑苑台グリーン・ひまわり・南1条・南3条・花川南睦美・コスモス・花畔中央・花川南・紅南・パストラル・樽川南第1各会館、厚田区・浜益区各集会所、石狩市コミセン等、望来コミセン、児童館、ふれあいの杜子ども館、市民プール、スポーツ広場、緑苑台パークゴルフ場、スポーツセンター、市民館、高岡・北生振・五の沢・生振各ふれあい研修センター、美登位創作の家)
- ・人権擁護委員推薦について意見を求める件(伊藤美由紀氏)
- ・人権擁護委員推薦について意見を求める件(伊藤郁子氏)
- ・財産の取得の件(マイクロバス)
- ・財産の取得の件(スクールバス)
- ・訴えの提起の件
- **令和6年度決算認定** ・令和6年度石狩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
- ・令和6年度石狩市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件
- ・令和6年度石狩市水道事業会計決算認定の件
- ・令和6年度石狩市下水道事業会計決算認定の件
- **意見書** ・最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書
- ・ヒグマ対策推進のため、国の責任で予算措置の拡充などを求める意見書
- ・ゲノム編集技術応用食品の安全性審査の実施や表示を含めた消費者への情報提供の在り方について改めて検討を求める意見書
- ・2027年度介護保険制度改正に向けた意見書

### 会派の態度が分かれたもの

	石政	公明	共産	改革	無	採決結果
令和7年度石狩市一般会計補正予算(第7号)	○	○	×	○	○	可決
令和7年度石狩市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	可決
石狩市火葬場条例の一部を改正する条例案	○	○	×	○	×	可決
石狩市火葬場に係る指定管理者の指定の件	○	○	×	○	×	可決
令和6年度石狩市一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	×	可決
令和6年度石狩市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決
令和6年度石狩市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決
令和6年度石狩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	×	○	○	可決

(石政:石政会所属議員8人 公明:公明党所属議員3人 共産:日本共産党所属議員3人 改革:改革市民会議所属議員3人 無:無所属議員1人)

## 第3回臨時会

(12月25日)

傍聴者 なし

令和7年第3回臨時会は、12月25日に開催され、補正予算などを審議しました。

## 《《《 補正予算 》》》

### 令和7年度一般会計の主な補正

- **総務費** 7億2,500万円
  - ・物価高騰対応重点支援事業費
- **教育費** 4億2,740万円
  - ・中学校校舎等改修事業費 ほか

### 令和7年度介護サービス事業特別会計の主な補正

- **サービス事業費** 71万6千円
  - ・特別養護老人ホーム運営費 ほか

## 《《《 第3回臨時会 議決結果 》》》

### 全会一致で決まったこと

- **令和7年度補正予算** ・令和7年度石狩市一般会計補正予算(第9号)
- ・令和7年度石狩市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- ・令和7年度石狩市水道事業会計補正予算(第1号)

### 議会基本条例検証特別委員会

議会を取り巻く状況の変化を検証するため、特別委員会を設置しました(令和7年12月25日設置)。

**委員長** 日下部勝義

**副委員長** 遠藤典子

**委員** 山本由美子、蜂谷高海、松本喜久枝、神代知花子、金谷聡、上村賢、山田敏人、花田和彦



日本共産党  
はちや たかumi  
**蜂谷 高海**

### 庁舎以北の公共交通について

**問** 厚田花川線については路線や運行時間の見直し、土曜日の運行などが新たに盛り込まれましたが、住民からは札幌市への直接の乗り入れや日曜・祝日の運行について要望が出ています。今後、どのように対応していくのでしょうか。

### 日曜・祝日の運行は対応が困難

**答** 人繰りが厳しい中で運行事業者にご協力をいただいていることから、札幌市への乗り入れは難しいと考えています。日曜・祝日の運行も事業者が年中無休となり、対応が困難です。現在、沿岸バス(株)やあつたライフサポートの会と協議をしており、ほかの手段も含めて引き続き検討していきます。

#### 再質問

浜益のデマンド交通は10月から区内便と厚田への送迎便の体制に分かれています。厚田便を札

幌市まで伸ばす可能性はありませんか。滝川市への病院の送迎のように札幌市にも走れませんか。

**再答** 浜益から札幌市への直行便となると、車両や運転手の確保も課題ですが、運行距離が往復100kmを超えるため、利用者のニーズのある時間帯での運行は難しいと考えています。(企画政策部)

### 浜益区、厚田区の子どもの居場所対策について

**問** 浜益区では6月中旬より保育所開放事業が始まり、夏季休業期間には「わらしやんど・カダレーヤ」が開催され、子どもの居場所づくりが進み、保護者から喜びの声があがっています。来年度以降、どのように進めていきますか。また厚田区も対策が必要ではありませんか。

### よりよい居場所づくりを引き続き支援

**答** 浜益区で夏休みに試験的に実施した「わらしやんど・カダレーヤ」は地域の小・中学生の約7割の登録があり、8日間に延べ182人が参加しました。保護者や子どもたちからも好評で、冬休みも試験的に開設します。来

年度以降はこれらの結果を踏まえて検討します。はまます保育園の開放事業と合わせて放課後の居場所となるよう進めていきます。厚田区においては厚田保育園開放事業やシップミニ児童館のほか、地域の保護者が中心となって「あつたみんなの居場所」を実施しており、地域主体の運営を支援していきます。(子育て推進部)



▲あつたみんなの居場所[あつみん]

### 再生可能エネルギー設置のルールづくりを

**問** 石狩市は陸上や洋上に再エネ発電施設が設置されていることや多くの計画があると同時に、多様な動植物の生態系が残る自然環境豊かな地域でもあります。自然環境や居住環境と調和が取れるよう再エネの設置に関わる許可やルールを定めた条例が必要ではないでしょうか。

### ガイドラインの遵守を徹底

**答** 本市では「石狩市風力発電設備の設置及び運用の基準に関するガイドライン」を策定。太陽光発電は国のガイドラインを市のホームページで公開しており、ガイドラインの遵守を事業者に働きかけていきます。

**再質問** 望来地区の小型風力発電は停止中の2基のうち1基がいつの間にかブレードが回転しています。嶺泊地区に新たに建った1基については前回の定例会の質問では「ガイドラインに適合している」と答弁があったが、実は適合しておらず、現在建て替え作業中です。ガイドラインを軽く考えているのではないか。厳しい姿勢で臨むべきではないですか。

**再答** 嶺泊の風力発電設備は道路までの離隔距離が基準を満たしていないことが判明し、是正に向けて事業者が対応を進めています。本市としては再エネの設置及び運用に関するルールとして条例でもガイドラインでも変わるところはなく、最も重要なのは地域との相互理解だと考えています。(環境市民部)

#### その他の質問

- ヒグマなど野生動物対策の拡充について
- 市内投票所の見直しについて



改革市民会議  
かみむら さとし  
**上村 賢**

### ■ 新年度予算編成について

**問** ① 新年度に向け各部署はどのような取り組みを考え予算要求がされているのか伺います。

② 令和7年度は市税の堅調な伸びから過去最大の予算編成となりましたが、令和8年度の税収見込を伺います。

③ 市長任期最後の本格予算となりますが、市長が考える重要施策について伺います。

### ■ 重点7施策の展開を図る

**答** ① 新年度予算は少子高齢化等の社会的課題への対応や行政サービスの充実と地域経済の発展に資する施策推進のために掲げた7項目を踏まえ編成を進めています。

② 固定資産税や個人市民税の伸びなどにより市税全体で約10.5億円、率にして令和7年度当初予算対比約2%の上昇を見込んでいます。

③ 令和8年度は市長就任以来、取り組んできた「こどもまんなかまちづくり」と「脱炭素地域社会の実現」に加え、「自治体DXによる行政サービス改革」と「まちなかふれあい拠点づくり」を新たな重点施策項目に位置づけしており、これらが相互に関連し合うことで本市の将来を力強く支えるものになると考えています。(市長)

### ■ リチウム電池製品の安全対策について

**問** ① リチウム電池内蔵家電による火災事例が多数報告される中、市民に対し製品の使用方法や処分についてどのように啓発しているのか伺います。

② ごみ焼却施設でリチウム電池が原因とみられる火災事故等が多発していますが、本市の焼却施設での対策を伺います。

### ■ 適正排出の継続的周知や回収等に努める

**答** ① 本市ではモバイルバッテリーなどの小型充電式電池は市役所、支所、コミセンの計8カ所に回収ボックスを設置し適正な回収に努めています。火災のリスクがあるごみの排出については「家庭ごみ出し方ガイド」と「ごみ

資源分別案内アプリ」の活用や広報紙で周知を行っています。

② 北石狩衛生センターでは昨年度リチウム電池が原因とみられる発煙や着火等の事案が39件確認され、危険ごみの混入による爆発事故も発生したことから改めて設備点検や監視強化等の再発防止策を講じ、廃棄物の収集・運搬処理に従事する職員と事業者へ危険物の混入防止について注意喚起を行っています。(環境市民部)

**再質問** ライターやスプレー缶等のように市として回収する考えはないのでしょうか。

**再答弁** 現在のライター等の扱いと同じようになるべく早めにこのリチウム電池の回収ができるような方策を検討してまいります。



▲ 小型充電式電池回収ボックス

### ■ 次期学習指導要領の改訂について

**問** 文部科学省は次期学習指導要領

の改訂に向け重要な方針を示す論点整理を公表し、2026年度中に答申が行われる予定です。この要領が小学校では2030年度から、中学校では2031年度から実施されるまでの期間、教育長はどのような決意の下、取り組んでいく考えか、伺います。

### ■ 柔軟な教育課程や編成が可能となる

**答** 教育委員会では次期要領が小学校で全面実施される2030年度に向け、学校裁量の拡大による教育課程の編成が真に機能するものとなるために、次期改訂のポイントである調整授業時数制度の導入等について先進事例の調査・研究を進め、教職員研修会を通じて共有化を図るなど学校へのサポートをより強化します。また今後の教育に生じる変化を大局的に捉え、適切な取り組みを通じて主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら自らの人生をかじ取りできる子どもたちの育成を目指して誠心誠意取り進めていきます。(教育長)

### ■ その他の質問

- 災害対策について
- 外国人保険料未納について
- 後期高齢者の口腔ケアについて



石政会  
たか だ しず お  
**高田 静夫**

### 石狩沖一般海域での 洋上風力発電について

**問** ①石狩沖が有望な区域に整理された令和5年5月以降、国・道・関係機関等と本市との間で行われてきた協議意見交換の経過を伺います。

②資材価格高騰等で事業者の撤退や計画縮小が生じる中、国は公募占用指針等の検討を進めており、これら要件の見直しが本市や石狩沖有望区域に与える影響をどのように認識し、併せて促進区域指定に向け今後どのように対応していくのか考えを伺います。

年度内の法定協議会開催に向けて尽力する

**答** ①市は国や道とともに複数の漁協や自治体との協議・調整を行い、私自身も関係自治体首長と意見交換を行っているっており、8月には法定協議会の

開催前に行う地域検討部会が開催され利害関係者との調整がなされたところからです。

②このたびの公募制度の見直しはコスト低減を重視しつつ事業完遂が可能な計画を高く評価するなど、今後の洋上風力を着実に進めるものであることから、石狩市沖も新制度の下、取り進められると認識しており、引き続き本市では年度内の法定協議会の開催に向け国や道と連携し取り組んでいきます。

(市長)



### 本市の鳥獣被害対策について

**問** 野生鳥獣による被害や危険性は本市でも例外ではなく農業者・

漁業者や市民生活の安全安心に大きな影響を及ぼしていることから抜本的な対策の強化が求められていると考えます。そこで①ヒグマ対策 ②トド対策 ③本年度が最終年度を迎える鳥獣被害防止計画について市の考えを伺います。

### 関係団体等と連携し取り組む

**答** ①ヒグマが市内に出没し人身被害の発生等が予見される場合は警察・消防・猟友会と協議の上、対応を決定し、現場の安全を確保しながら箱わなによる捕獲等を実施。さらに「北海道ヒグマ管理計画」に基づき浜益区と厚田区を対象とした春期管理捕獲の実施で人里への出没を抑制し、併せて捕獲従事者の育成を図っています。

②トド対策は関係団体と連携し銃器による駆除や爆音機の設置など被害軽減に向けて取り組んでおり、国の機関で試験的に実施しているドローンを活用した追い払いは一定の効果があったと承知しています。また、海獣による漁業被害への補償制度の創設についても、引き続き粘り強く北海道市長会を通じて国に要請していきます。

③「鳥獣被害防止計画」は関係団体と石狩振興局による確認を経て現在パブリックコメントを実施しているところで、令和8年4月には計画をお示し

できると考えています。  
(副市長)

### アキサケ資源の減少と 水産業の振興について

**問** ①アキサケの漁獲量が減少しており、この厳しい資源状況が続いた場合、地域産業全体への波及も懸念されますが、市の現状認識を伺います。

②不漁で親魚の確保にも苦慮する中、資源造成と増殖事業への支援について伺います。

### 関係者と連携し漁業経営の 安定化に取り組む

**答** ①令和7年の本市のアキサケ対前年比漁獲量は約40%の状況で、憂慮すべき状況にあると認識しています。②資源造成は道による対策が講じられており、増殖事業への支援は道が定める「ふ化放流計画」に基づき一元管理が行われ、実施機関が要する経費の一部を本市と石狩湾漁協で負担し安定した資源の確保が図られるよう取り組んでいます。  
(産業振興部)

他の質問  
●厚田区・浜益区の住所表記変更  
と今後のまちづくりについて



公明党  
えんどう のりこ  
遠藤 典子

### スフィア基準を踏まえた 避難所の整備について

**問** ①道の3月改正避難所マニュアルには避難生活の質を高める国際的指標「スフィア基準」が明記されていますが基準導入の考えを伺います。

②本市避難所でのトイレ基準、1人当たりのスペース、水の量を伺います。  
③避難所では主流の段ボールベッドに不具合も生じており、今後のベッド備蓄の選択肢を伺います。

### 10月に運営マニュアルを改正し 基準理念を反映

**答** ①本市でも10月に指定避難所運営マニュアルを改正し、災害等の影響を受けた人々には尊厳ある生活と支援を受ける権利があるとすると「スフィア基準」の理念を反映したところとです。

②トイレは各避難所で男女別に最低限対応できる数の仮設トイレ等を備蓄し、凝固剤の活用や応援協定支援により必要量を確保しています。避難スペースは国が示す1人当たり約2mを市の基準とし、飲料水は国が推奨する1人1日3ℓを備蓄目標とし、令和10年度までにおおむね確保できる見込みです。

③段ボールベッドは湿気や組立作業の負担など課題があるため本市では令和6年度よりエアベッドの備蓄も進めており、テントと合わせて活用することで衛生面やプライバシーに配慮した環境整備を進めています。(市長)

### 障がい者福祉タクシー 利用券について

**問** ①福祉タクシー助成事業は見直しで基準日が定められ年1回の交付となりましたが、このような改正となった理由を伺います。

②福祉利用券・タクシーチケットの対象要件は精神障害者保健福祉手帳1級もしくは2級となつていますが、障がい者福祉タクシー利用券は1級のみのため2級を追加できないか伺います。

### 今後の検証を踏まえ 制度のあり方を検討

**答** ①月ごとの随時交付は、タクシー利用券の事務効率化や年度内に転出入を繰り返す方への2重交付の防止を図る観点等から廃止をしました。見直しにあたり行ったパブリックコメントでは交付方法の変更に対するご意見等は寄せられませんでした。が、社会福祉審議会から丁寧な周知に努める旨の附帯意見があり、広報いしかりや市ホームページで周知に努めたところです。

②障がい者福祉タクシー利用券は移動に重度の困難がある方を対象に1級に絞って交付していますが、本制度は本年度に見直しを行った事業であることから今後検証が必要と考えています。(福祉部)

### 右岸地区道路画像の 情報公開に伴う周知について

**問** 10月末から北海道開発局のホームページにホワイトアウト対策の道路情報提供システムとして若生町辺りの国道状況をリアルタイムで見ることが可能となりました。安全走行の判断材料とするため、「い

しポ」から簡単に検索できるようにならないか伺います。併せて今回の画像確認の実現化を広報等で周知していただけないでしょうか。

### 広報いしかり1月号や 市ホームページで周知を図る

**答** 市がこれまで国道管理者に要望してきた冬期間の道路画像の情報提供は国道231号石狩河口橋付近の状況確認が可能となり、画像の「いしポ」の活用は本システムからも簡易にアクセスできるよう現在作業を進めています。また、当該道路の状況確認が可能となったことは広報いしかり1月号や市ホームページで市民周知を図っていきます。(建設部)



▶「いしポ」による国道231号石狩河口橋付近の状況確認



日本共産党  
やまざき さちこ  
山崎 祥子

### 物価高騰から市民の命と暮らしを守るために

**問** 政府は11月、強い経済を実現する総合経済対策を閣議決定し、物価高対策では自治体がいし道や自由を決められる重点支援交付金が拡充されますが、市はどのように検討しているか伺います。

### 重点支援交付金の 主旨を踏まえた事業を検討

**答** 本交付金の限度額は国の補正予算成立を待って正式に通知されることになっており、市としてはまだ具体的な支援事業や実施時期等をお示しできませんが、国会の動向や本交付金に関する情報収集に注力しつつ、現時点での国からの通知等を庁内で共有し事業化の検討を行うなど準備を進めているところです。  
(企画政策部)

**再質問** 国の制度設計後、庁内で検討されるとのことですが、札幌市では昨年の重点支援交付金で、水道料金の減額を行っています。これは事務費もかからず、広く市民に行き届く支援で効果的だと思えます。加えて、物価高騰による小・中学校の保護者負担軽減の給食費等の支援についても伺います。

**再答** 現在、事業の検討化に向けて準備をしている状況です。水道料金並びに給食費の軽減に関しまして、現時点では他のメニュー等も含めて検討しているところです。

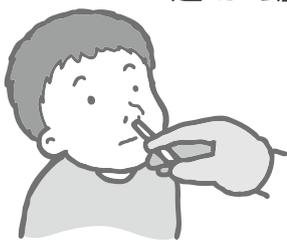
### 子どものインフルエンザ ワクチン助成について

**問** 本市では高齢者等のインフルエンザ予防接種の助成を行っています。子どもへの助成は行っていません。インフルエンザワクチンは、13歳未満は2回接種が推奨され、2023年から承認された経鼻型ワクチンは注射の痛みがなく接種回数は1回ですが、8千円〜9千円と高額です。肺炎や脳症等が重症化しないためにも、子どものインフルエンザワクチンに対して助成を行

う考えはないか伺います。

### 引き続き国の動向等を注視し 慎重に取り進める

**答** 本市ではインフルエンザに感染した場合に重症化リスクの高い高齢者等への支援として65歳以上の高齢者や60歳から64歳までの一定の基礎疾患を有する方を対象として公費によるインフルエンザワクチンの接種費用の一部助成を行っているところですが、子どもへの接種については平成6年に国の定期接種の対象から除外されたことから本市でも任意接種として保護者と子ども本人のご判断により接種いただいております。現時点では助成する考えはありません。ただし国で定期接種化の検討が進められている予防接種もありますので、引き続き国の動向を注視しながら慎重に取り進めていきます。  
(子育て推進部)



▲経鼻型ワクチン

### 学校給食費の無償化について

**問** ①学校給食費の無償化は2026年度より公立小学校の実施に向けて

現在政府が協議を行っていますが、市として新年度からの小学校無償化についてどのように準備を行っているのか伺います。  
②政府方針ではその後、中学校の無償化も進めるとしていますが、市として中学校でも小学校と同時に進める考えはないか伺います。

### 引き続き動向を注視して対応

**答** ①2月に自由民主党、公明党、日本維新の会の3党により「給食費の無償化は小学校を念頭に令和8年度に実現する」との合意文書が交わされ、6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」で「給食費の無償化は令和8年度予算の編成過程において成案を得て実現する」と明記されています。現時点では財源措置を含めた制度設計は示されていませんが、本市としては学校給食法と食育基本法に基づき給食の質や量、栄養バランスの確保、食育の推進などこれまでと同様に取り組んでいきます。  
②3党合意の中で「中学校への拡大についてもできる限り速やかに実現する」と示されていますが、開始時期も含めて明確に示されていないことから、引き続き動向を注視して対応していきます。

(学校教育部)



改革市民会議  
かなや さとし  
金谷 聡

### 本市のヒグマ春期管理捕獲について

**問** 国内では現在、クマの出没が災害級とも表現されるほど深刻化し人的被害が過去最悪のペースで増加しています。根本的な対策の一つとして残雪上に残る足跡をたどることができるとヒグマの追跡が比較的容易となる春期管理捕獲が2023年から実施されていますが、本市の捕獲目標数や参加ハンター人数、捕獲実績数について伺います。

**答** 本年度の参加ハンター人数は延べ25人

春期管理捕獲は鳥獣保護管理法に基づき道の許可により猟友会に委託して実施しており、許可頭数は20頭で、参加人数は令和5年度が延べ14人、令和6年度が延べ51人、本年度は延べ25人となっています。また、各年

度とも捕獲には至っていませんが、足跡などの痕跡は確認できているところです。(環境市民部)

**再質問** 駆除実現に向け検討している取り組みはありますか。

**再答弁** 本年2月・3月の出勤回数を4日間から6日間に増加しています。

### プレミアム付きデジタル商品券について

**問** 本年度プレミアム付き商品券事業に利便性の高いデジタル商品券が選択肢の一つとして導入されましたが、一部事業者がデジタル商品券に対応していなかったことから市は非対応の理由を把握しているか伺います。また、デジタル商品券対応の障壁となっている事由を解決し今後対応事業者の拡大を支援する考えについて伺います。

**答** 市民の約86%が次回以降も利用を希望

本事業の取扱登録店254のうち電子商品券未導入は69店舗で約27%でした。事業実施後に行った取扱店向けアンケートによると電子商品券を導入しなかった理由は、レジ操作

が複雑になる、お客さんからの要望がないなどの事情が挙げられています。また、導入拡大支援は事業者に対し、レジ運用の変更に伴う事務の負担以上に会計時間の短縮や人的コスト等が削減すること、電子商品券を利用した市民の約86%が次回も利用を希望していること、デジタル化で新たな顧客が取り込めるなど店舗側にメリットがあることを、今後同一事業を実施する場合に説明し、ご理解を得ていきたいと考えています。また、消費者側にも電子商品券は1円単位で満額利用ができ常に携帯する必要はなく、紛失のリスクも低いため紙の商品券よりも利便性や安全性に優れていることをご理解いただけるよう努めていきます。(産業振興部)

### 冬季避難所体験訓練への参加呼びかけについて

**問** 11月に花川北コミセンで冬季避難訓練が実施され、今回は地元の小・中学校にも開催の案内がなされたようですが、今後さらに市内の高校や大学に加え、高齢者支援施設、障がい者支援施設に冬季避難所体験訓練参加の呼びかけを行い、寒さの中での避難行動や備えについて検討してもらおうでしょうか

けとすることについて市の考えを伺います。

**答** 高校・大学や高齢者支援施設等にも呼びかけを行う

本市では昨年度より冬季避難所体験訓練を全市民に呼びかけて行っており、周知には町内会回覧、新聞記事、広報いしかり、あい・ボード等を通じて約100人の市民の皆さまに参加していただいたところです。若い世代も含め防災意識を一層高めていくことが重要であると考えているため、次年度の実施にあたっては市内の高校や大学、高齢者支援施設や障がい者支援施設等にも参加を呼びかけ、市民の皆さんの防災力向上に努めていきたいと思えます。(危機管理監)



▲冬季避難所体験訓練

### その他の質問

●花川通の除雪について  
●道路照明灯と街路灯のLED化について



石政会  
やまもと けんじ  
山本 健司

### 学校給食費無償化に関わる、給食の質・量及び食育の確保について

**問** 国は令和8年度から小学校の学校給食費を無償化する方針を示していますが、本市はこの動向をどのように捉えていますか。また、給食は単なる食事の提供にとどまらず、これまで本市が給食に「いしかりデー」を設けて石狩産食材の積極的活用を図り、子どもたちの郷土愛醸成に大きく寄与してきた食育の推進など給食が果たす役割を今後どのように確保していくのか伺います。

### 質と量の確保や食育等にこれまで同様に取り組む

**答** 学校給食の無償化は現時点では国から具体的な制度設計が示されていませんが、国が責任を持って財源措置を行うよう求めていくことと併せ、学校給食法と食育基本法に基づき給食の質や量、栄養バランスの確保、食

育の推進等についてこれまで同様しっかりと取り組んでいきます。(学校教育部)



▲いしかりデー  
写真は浜益牛のそばろ丼(浜益牛・タマネギ・ニンジン・米)、さけ太郎のたまご焼き、ゆでブロッコリー(ブロッコリー)、牛乳 ※( )内は石狩産食材

### 新たな空間創出事業の進ちょく状況について

**問** 近年、石狩湾新港エリアが商業地として注目度が高まっています。市では令和6年度から新たな空間創出検討事業委託業務を進めており、周辺エリアで企業誘致を進めつつ都市計画変更時のコンセプトを維持しながらレクリエーション機能と商業機能を併せ持つ「ハイブリッド空間」の創出に向けて必要な手法や課題整理を行ったとされていますが、本市の企業誘致の進ちょく状況を伺います。

### 現在複数の開発事業者と意見交換を進めている

**答** 新港エリアの新たな空間創出は本年度、土地の所有者である石狩開発と共通認識の下、開発事業者に対し当該エリアのコンセプトなどの方向性や開発が可能となる施設を明記し、具現化に向けた条件を付したガイドラインを作成。これを10月に公表しており、現在は複数の開発事業者と意見交換を進めています。今後も道央圏域における新たな交流拠点として本市の魅力向上と持続可能な都市機能の形成に資する企業誘致を進めていきます。(企画政策部)

### 軌道系交通導入の今後の検討方針について

**問** 本市は国土交通省の補助金を活用し「官民連携手法による新たな軌道系交通の導入可能性調査」を令和5年度に実施。その概要と報告書を公表しましたが、これ以降市民に対して具体的な検討状況などの情報発信が十分に行われているとは言いがたく、本調査を市としてどのように評価しどのようなロードマップで導入検討を進めていくのか明らかにできていません。軌道系交通の実現はま

ちづくりや脱炭素、観光振興など幅広い分野に影響を与える大規模プロジェクトです。導入可能性調査の結果に対する総合的な評価と現状について市の見解を伺います。

### 引き続き当該施設の導入可能性を検証する

**答** 当該調査は地理的条件や整備コスト、再エネ活用等の将来像を踏まえ都市型自走式ロープウェイが最も適していると評価された一方で、事業採算性は投資の回収が困難との結果を得ていることから現時点で直ちに事業化を図ることは難しい状況となっています。ただ、開発事業者からは施設のコスト削減や実装に向けた法律の適用に関する国との協議、さらには札幌市との連携の可能性について検討を進めていると伺っており、市では引き続き当該施設の導入の可能性を検証していきたいと考えています。(副市長)

### その他の質問

- 住宅リフォーム・融雪槽設置・空き家購入支援について
- 移住定住促進のための新築住宅取得支援策について
- 市民プール建て替え検討に伴う現在の市民プール周辺の土地活用について
- 米価高騰と石狩産米の安定生産と需要喚起策について



公明党  
あべ ゆみこ  
阿部 裕美子

### 重点支援 地方交付金について

**問** ①重点支援地方交付金の生活者支援には低所得者・高齢者世帯を対象とした水道料金の減免も国の推奨メニューに示されていますが市の考えを伺います。  
②事業者支援には企業の賃上げ環境整備なども盛り込まれており、市内の企業から賃上げに伴う人件費が負担になっているとの声を多く聞きます。賃上げに取り組む事業者への補助について市の考えを伺います。

**答** ①生活者支援は現在、庁内各部に事業化の準備を指示し、水道料金引き下げなども含めた事業内容について広範な議論をしているところです。  
②賃上げに取り組む地域の企業・事

業者への支援は国や道の支援策の動向を注視しつつ必要な事業を検討していきたいと思えます。  
(市長)

### 聴力障がい者の支援について

**問** ①災害時に手話付きの動画を市のSNS等で迅速に発信し情報が確実に届くよう体制整備が進められていると思いますが、進ちょく状況を伺います。  
②聴力障がいの方もグループホーム等の入居は可能ですが、空きが少なく、スタッフに手話ができる方はほぼいないことが懸念されます。聴力障がい者が高齢になった時に安心して入居できる施設の整備と、自宅で安心して暮らしていくための支援について市の考えを伺います。

### 関係機関と連携し取り組む

**答** ①市では「石狩市地区防災ガイド」に二次元コードを付け、その内容を手話でも確認できるようにしており、市の「LINE」や「いしポ」などの活用も含め、情報提供の強化に努めていきます。また災害時での手話付き動画の配信は情報提供のあり方として今後検討する必要があると認識しています。

②市内に聴覚障がい者専用の高齢者施設はありませんが、一般の高齢者施設への入居や道内の聴覚障がいに特化した施設に入所される方がいるほか、近隣に札幌聴覚障害者協会が運営する施設もあり、市としては聴覚に障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう各種の助成制度や福祉サービスを適切に提供し、個々の状況に応じた支援に努めていきたいと思えます。  
(福祉部)

## 石狩市 地区防災 ガイド

令和4年3月改訂版



防 災

Ishikari Disaster Prevention Guide  
石狩市防災指南  
Руководство по предупреждению стихийных бедствий г.Ишикари

▶手話動画が確認できる石狩市地区防災ガイド

### 使用済み紙おむつの リサイクル推進について

**問** ①市内に使用済み紙おむつのリサイクルセンターが開業しました。使用済み紙おむつをリサイクルに回せるよう排出する市内病院・高齢者施設、回収運搬事業者、受け入れる市が連携し、これまでごみとして

処分していた物の再資源化を目指す考えはありませんか。  
②今後、燃えるごみは札幌市と連携し処理されますが、ごみの減量とリサイクルを推進するため、紙おむつのリサイクルを含め協議を進めるべきと考えますがいかがですか。

### 今後も環境に優しい 循環型社会の実現を目指す

**答** ①今回のリサイクル事業は、必要な処理能力を有し、適正処理と環境保全が確保され持続可能な事業であるならば、高齢者施設や病院等から排出される事業系ごみの一部である使用済み紙おむつの新たなリサイクルルートとして可能性を有するものと認識しています。

②札幌市との可燃ごみ広域処理に関する協議では、ごみの減量化・資源化を基本事項として定めており、今回のリサイクル事業もこの基本方針に資する取り組みと考えています。  
(環境市民部)

**他の質問**  
●単身世帯の安心登録について  
●街路樹の整備について



日本共産党  
まつもと きくこ  
松本 喜久枝

### 病院・介護施設の実態調査と市独自の支援策を

**問** ①全国の医療機関の倒産件数が過去最多のペースとなっております。市民の命を守る医療機関の人材確保と財政支援は重要であり、市として実態把握し何らかの支援策が必要だと思いますが考えを伺います。  
②介護現場の人手不足も深刻さを増しています。市内の介護施設と訪問介護事業所の実態把握と市独自の支援策が必要だと考えますが見解を伺います。

### 本年度中に介護事業者へアンケートを行う

**答** ①市では医療法人の経営情報は公表されていないため経営実態を把握できませんが、物価上昇等の影響を直ちにサービス価格に転嫁できないことから経営状況は厳しい状況にあると認識しています。国は令和8年度

の診療報酬改定の時期を待たず、二医療・介護等支援パッケージ」を緊急措置し、国や北海道が窓口となって給付金等が支給される予定となっております。(健康推進部)

②令和6年度の介護保険報酬改定では、介護の人材確保をするため、本年度の補正予算案が閣議決定され、介護職員の賃上げ額が最大月額1万9千円となるよう全国の事業所・施設に補助金を支給する方針が打ち出されています。本年度中にサービス付高齢者住宅などを含めた約100の介護事業所を対象にアンケートを実施し、この結果を踏まえ必要な支援を検討していきます。(福祉部)

### 除排雪実施計画と通学路や生活道路の安全を

**問** ①本年度の除排雪はどのような日程で行うのか、作業車や人員確保も含め伺います。  
②通学路は除排雪がされ、安全に登下校できる体制となっているか伺います。

### 関係者と連携し道路環境の確保に努める

**答** ①作業はおおむね12月下旬からバス通り等の幹線道路の排雪を開始

し、1月中旬から生活道路の排雪作業へ移行、2月中旬から下旬の完了を目標に取り進める予定です。なお近年運転手の高齢化や排雪ダンプの不足等が課題と言われていますが、現在のところ例年どおりの除排雪体制の準備が整っています。

②通学路は各学校で個別にルール作りがされ、歩道除雪をする路線以外の道路も通学路として利用されていることから、歩道の除雪を行っていない準幹線は車道を歩いてもらうことになりませんが、道路状況にに応じて拡幅作業や排雪を実施することで歩行空間の確保に努めます。(建設部)



### 子どもも親も安心できる不登校支援を

**問** ①日本共産党の不登校の提言によると、不登校は子どもや親の育て方のせいではないとしています。そこで、学習に限定されない居場所としての校内教育支援センターを全て

の学校へ設置し、人員配置の拡充を道や国に求める考えはないかお聞きします。

②ふらっとくらぶの正規職員を増やし、給食費や交通費への負担軽減等について考えを伺います。

### 校内校外の教育支援センターでサポート

**答** ①市は本年度、校内教育支援センターを3校増やし、小・中学校合わせて10校設置しており、今後も未設置校への適切な設置を検討します。また支援員は市費で配置していますが、不登校児童生徒数が増加傾向にあるため、北海道都市教育長会等を通じて国や道に支援の拡充を求めています。

②ふらっとくらぶの指導員は令和6年度に1人増員し、現在4人を会計不登校児童生徒の居場所として両輪で考える必要があるため、現体制を維持しながら支援の充実に努めていきます。給食費、交通費への助成する考えはありません。(学校教育部)

**その他の質問**  
●子どもの居場所づくりや母子保健事業、子ども子育ての相談活動等について



公明党  
やまもと ゆみこ  
山本由美子

### 市民プールを含む 複合施設について

**問** ①新たに整備される複合施設にバスの乗り入れスペースや待合所を設置することを提案しますが、市の考えを伺います。

②市役所本庁舎とりんくろが複合施設を介して連絡通路でつながっていると、雨風雪を避けられる利便性や多機能連携の可能性が高まりますが、考えを伺います。

③市民プールは施設計画の段階から委託事業者の見直しも検討すべきと考えますが、市の意向と今後の計画を伺います。

### 詳細等は

### 基本構想や基本計画で検討

**答** ①本庁舎周辺が担っている交通結節点やデマンド交通等の乗り換えのための待合所機能は検討すべき課題と認識しており、今後は基本構想

等で市民の声をお聴きし、関係者と議論を深めながらバスの待合所機能等についても検討していきたいと思

います。  
②本庁舎とりんくろをつなぐ導線は来庁者や職員等の利便性向上が期待できるため、引き続き検討していきたいと思

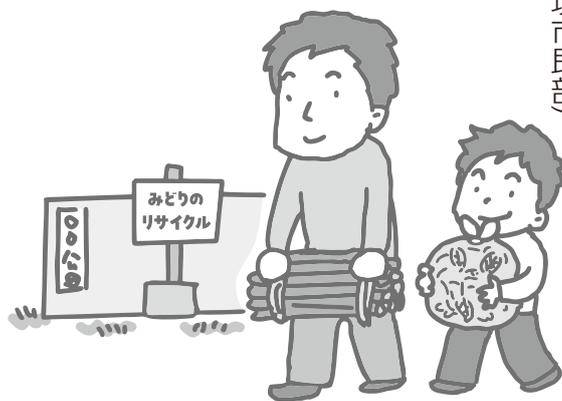
います。  
③市はプール整備に向け他自治体施設等の視察や聞き取りを行い、民間企業による運営には指導の専門性の向上や業務の効率化が図られている一方で、指導員の人材確保に課題を抱える状況であることも把握したところで、持続可能な運営体制の構築の観点からも検討を進めます。  
(市長)

### みどりのリサイクルについて

**問** みどりのリサイクルは高齢などで収集時まで運ぶことができない場合は燃やせるごみの収集日に無料で戸別収集されますが、再利用されずに焼却されます。また、みどりのステーション指定公園には対象外のごみが混在しています。家から出たごみは各自が責任を持つという観点からも地区ごとに曜日を定めて戸別収集することはできませんか。

### 現行の収集体制で取り組む

**答** 本事業を戸別収集に変更実施する場合、新たな収集車両や人員確保が必要となり、相応のコストが生じます。また新ルートの確保は運営上も大きな負担となり、現段階では拠点回収と補完的な戸別収集を組み合わせた現在の方式が最も持続可能な収集体制であると考えています。  
(環境市民部)



### 児童・生徒の放課後の居場所について

**問** ①本市にある多様な施設は子ども

についての市はどのように認識しているか伺います。  
②紅南小校区と緑苑台小校区にはランドセル来館や自由来館できる児童館がありません。どの小学校校区にも安心して放課後を過ごすことができる居場所が必要だと考えますが、この校区での居場所の整備に具体的な計画はあるか伺います。

### 市子どもビジョンで 対策を検討する

**答** ①本市には児童館やミニ児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室のほか地域の団体等が運営する子ども食堂や学習支援などが子どもの居場所として利用されており、市では全ての子どもが安全に安心して過ごすことができ、子どもの視点に立った居場所の存在が重要であると認識しています。

②放課後児童対策は本年4月策定の「第一期石狩市子どもビジョン」において地域や学校等と連携して検討することから、計画期間内に対策を講じるよう取り進めていきます。  
(子育て推進部)

他の質問  
●町内会活動について  
●部活動指導員について



無所属  
「やさしい社会」をつくる市民の会  
くましろ ちかこ  
神代 知花子

### 泊原発3号機の再稼働について

**問** ①泊原発3号機の再稼働について石狩市民が北海道電力や道に意見を言う機会はありませんでした。市民の安全を守る立場として、市長の見解を伺います。  
②札幌市や小樽市では独自の立場を整理しようと議論されていますが、本市としても見解を示すべきではないでしょうか。

### 道議会で議論し、総合的に判断されるもの

**答** ①道は後志総合振興局管内の7会場に加え、札幌市など道内6圏域の6会場で住民説明会を開催しています。市としては、再稼働にあたり安全性の確保が大前提であり、国や道、事業者の責任の下、丁寧に説明し、理解と信頼を得ていくことが重要だと考えます。

②本市は「北海道地域防災計画」において、泊発電所から半径30km圏内の原子力災害対策重点区域に含まれておらず、広域避難先に指定される23市町村にも該当しないことから、独自の見解を申し上げる考えはありません。  
(総務部)

**再質問** 東日本大震災で全国に避難された方は約2万7千人。裁判の経過を見ても、誰も原発事故の責任を取っていません。被害を回避する唯一の選択は、再稼働しないことです。市長は再稼働に対しどのような考えるか、改めて伺います。

**再答弁** 泊村はじめ地元4町村の首長が、重い決断をして考えを述べられています。それを踏まえて今後は道議会で議論され、北海道が総合的に判断されるものと承知しています。  
(市長)

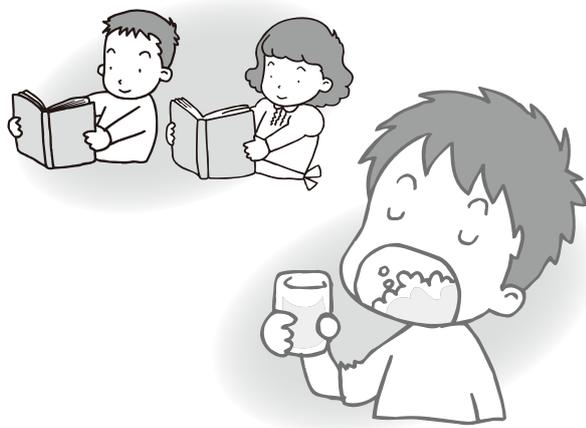
### 不登校の対策など教育行政について

**問** ①10月から市内小学校で実施されている集団フッ化物洗口について、実施状況を伺います。  
②不登校の児童・生徒は、どのような福祉的な社会資源を活用していますか

か。実態調査を行い、学びの機会や居場所の提供など、必要な策を検討すべきではないですか。

### 福祉部局との連携を図り支援に努める

**答** ①フッ化物洗口の実施希望児童数は11月末時点で1437人、在籍児童数の約50%となっています。実施を希望しない児童は、その間、読書などの時間としていっています。



②毎月連続7日以上、または年度で累計30日以上欠席がある児童生徒について「長期欠席児童生徒の通知書」として各学校から提出されています。速報値では不登校児童・生徒数は146人で、うち14人が「教育支援

センターからつとくらぶ」、67人が校内教育支援センター、14人が放課後等デイサービス等を利用しています。30日以上面会できない児童・生徒がいる場合は、本人や保護者に会うことを義務付けており、学校と市教委が連携しながら、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、福祉の関係機関も含めて適切な支援を行い、不登校を長期化させないよう取り組んでいます。

**再質問** 学校の教室で授業を受けなくても出席扱いとされるのは、どのような状況ですか。

**再答弁** 文部科学省では義務教育段階の不登校児童・生徒が学校外で指導を受けている場合や自宅においてICT等で学習している場合、学校長が適切な指導が行われていると判断し、一定の要件を満たせば出席扱いにできると定めています。公的機関である「つとくらぶ」のほか、民間施設であるフリースクールや放課後デイサービスについても同様です。  
(学校教育部)

### その他の質問

- 会計年度任用職員について
- 環境行政に関わることについて
- 国土利用計画法に基づく届出の申請状況について

# 委員会活動だより

各委員会が10月～12月に審査した議案などをお知らせします。

## 総務常任委員会

防災、総合計画、農林漁業、新港企業、観光、予算、市税などを審議します。

### ○主な調査項目

- ・「町名変更のしおり」の発行について
- ・石狩市過疎地域持続的発展市町村計画の策定について
- ・石狩庁舎以北の代替交通について(厚田花川線)
- ・「まちなかふれあい拠点整備検討事業」の検討状況について
- ・浜益デマンド事業について
- ・沿岸バス株式会社「特急ましけ号」について

## 厚生常任委員会

環境、ごみ・リサイクル、町内会、子育て、高齢者・障がい者福祉などを審議します。

### ○主な調査項目

- ・ヒグマ対策について
- ・石狩市地球温暖化対策推進計画(事務事業編)の原案について
- ・第5次石狩市共同参画計画の策定について

## 建設文教常任委員会

道路維持、公園、公営住宅、除雪、上下水道、学校関係、図書館などを審議します。

### ○主な調査項目

- ・令和7年度除排雪事業について
- ・札幌圏都市計画道路の変更(案)について
- ・札幌圏都市計画公園の変更(案)について
- ・市街化調整区域における産業系土地利用に関する基本方針(案)の策定について
- ・障がい者に関する使用料等の減免に係るパブリックコメントの実施結果について
- ・生振小学校の入学手続きの見直しに係るパブリックコメントの実施結果について
- ・令和7年度全国学力・学習状況調査結果報告～石狩市における結果の概要～
- ・令和6年度いじめ・不登校の状況について
- ・石狩市公共下水道事業計画の変更(案)に係るパブリックコメントの実施について
- ・石狩市生活排水処理基本計画の中間見直し(案)について

## 議会運営委員会

第4回定例会までに届けられた意見書については次のような結果になりました。

意見書名	審議結果
最高裁判決に基づき全ての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める意見書(案)	本会議提案
ヒグマ対策推進のため、国の責任で予算措置の拡充などを求める意見書(案)	本会議提案
ゲノム編集技術応用食品の安全性審査の実施や表示を含めた消費者への情報提供の在り方について改めて検討を求める意見書(案)	本会議提案
2027年度介護保険制度改正に向けた意見書(案)	本会議提案

※意見書については、議会運営委員会で審議し本会議で議決します

### 定例会開催予定

次回の第1回石狩市議会定例会は2月19日(木)から開催を予定しています。

石狩市議会では、市内中学校2校の生徒と市議会議員による意見交換会を開催しました。

「石狩の良いところ」「こんなまちになってほしい」をテーマに、生徒一人一人の声に耳を傾け、学校生活や地域への思い、石狩市の将来について、率直で多様な意見を伺いました。若い世代ならではの新鮮な視点や柔軟な発想は、議員にとっても多くの気づきを得る貴重な機会となりました。

ご協力いただいた各中学校の関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

11/4

## 花川北中学校

2つのテーマでグループディスカッションを実施しました。

### ●「石狩の良いところ」

石狩湾新港をはじめ、海・川・山といった豊かな自然環境が身近にあること、食べ物がおいしいこと、札幌に近くアクセスが良いこと、地域の人が優しく温かいこと、イベントやお祭りが多いことなどの意見が出されました。

### ●「こんなまちになってほしい」

夜道の暗い場所への街灯設置、カフェや飲食店の充実、音楽ホールや体育館、遊技場などの施設整備、ボール遊びができる公園や中学生が気軽に集まれる居場所づくりなど、多くの提案がありました。



出席議員：加藤議長、阿部副議長、花田議員、上村議員、遠藤議員、山田議員、金谷議員、鈴木議員、山崎議員、山本健司議員

11/11

## 花川南中学校

はじめに、各学年代表による探究的な学習の発表が行われました。

### ■1年生「地下鉄を石狩につくりたい」

### ■2年生「空き家を活用してこども食堂に」

### ■3年生「石狩革命! 石狩都市化計画」

アンケート結果を基に、実現に向けたプロセスを示しながら地域発展への貢献を見据えた提言は、いずれも大変素晴らしい内容でした。

その後、2つのテーマでグループディスカッションを実施しました。

### ●「石狩の良いところ」

自然が豊かで公園が多いこと、食べ物がおいしいこと、さけまつりがあることなどの意見が出されました。

### ●「こんなまちになってほしい」

観光地を増やして地域に活気をもたらししてほしい、除雪をより丁寧に行ってほしい、部活動帰りの住宅街が暗いため街灯を明るくしてほしいといった声がありました。



出席議員：加藤議長、片平議員、高田議員、伊藤議員、日下部議員、花田議員、神代議員、松本議員、青山議員、山本由美子議員、蜂谷議員

## 意見交換会を通じて

このたびの意見交換会では、生徒の皆さんが感じている石狩市の魅力に共感するとともに、自然と都市機能のバランスを大切にしまちづくりの重要性を改めて認識しました。市議会として、寄せられた意見を真摯に受け止め、議会活動を通じて市へ届けてまいります。

また、子どもたちが自分の意見を持ち、まちづくりに関心を寄せることの大切さや、石狩のまちが先人の努力や産業によって支えられてきたことを伝え、地域への誇りと愛着を育む重要性を改めて感じました。

多様な意見から多くの気づきをいただいたことに感謝するとともに、これからも「ふるさと石狩」を愛し、より魅力的なまちにするために何ができるかを考え、市政への関心を高めていただければと思います。

☆市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。皆さまのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

### 石狩市議会の会議録をご覧ください

2次元コードから石狩市議会定例会と臨時会の会議録が閲覧できます。または市役所ホームページから下の石狩市議会をクリックして会議録検索へ!



ERIS 議会の情報は「えりす いしかりネット テレビ」でもご覧いただけます!

